



令和3年1月2日

福岡市経済観光文化局 産学連携課

福岡市政記者各位

## 福岡市産学連携交流センター(FiaS)に入居する NOVIGO Pharma 株式会社 が 2 億円の資金調達を実施！

福岡市産学連携交流センター（以下：FiaS）に入居している九州大学発スタートアップの NOVIGO Pharma 株式会社（ノビーゴファーマ、以下：NOVIGO）は令和3年10月に、ニッセイ・キャピタル1号投資事業有限責任組合、みらい創造二号投資事業有限責任組合より、**総額2億円の資金調達（シリーズA）を実施**しました。

（別紙「NOVIGO プレスリリース資料」参照）

NOVIGO は、令和3年1月より FiaS に入居しており、スタートアップカフェなど市のスタートアップ支援施策等を活用して起業しました。福岡市としても、研究開発環境や支援施策の提供を通じて、引き続き同社をサポートしてまいります。

### 【NOVIGO Pharma 株式会社 石濱 航平代表取締役コメント】

薬の注射投与については、人によって副作用の発現や度重なる注射投与による生活への制限など、日々の生活に支障をきたすことがあります。

九州大学の次世代経皮吸収技術をもとにした皮膚に貼る当社の長期徐放製剤（※）は、注射投与による複数の課題を解決し、人々の生活の質の向上や、高齢化社会や僻地医療等、社会課題の解決に貢献できるため、次世代経皮吸収技術の創薬プラットフォーム展開に向けて様々な薬の製剤化を進めてまいります。

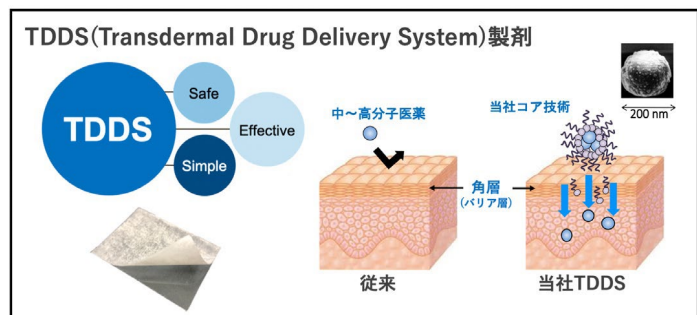
（※）薬の有効成分がゆっくり溶け出すように作られた製剤。効果が長期間持続し、副作用も起こりにくいというメリットがある。

### ◎ NOVIGO Pharma 株式会社の概要

- （1）代表取締役 石濱 航平
- （2）設立日 2021年1月22日
- （3）本社所在地 福岡市西区九大新町 4-1
- （4）事業概要

九州大学の後藤雅宏教授の開発した次世代経皮吸収技術をもとに、長期徐放製剤の実用化を目指して設立した九大発スタートアップ企業。

同技術の実用化は、長期間の薬効持続が可能という特性を活かし、複数回投与や副作用の発現といったデメリットを伴う注射投与に代わって、セルフメディケーションの推進を可能とするものであり、今後の高齢化社会や僻地医療への貢献が期待される。



### 【お問い合わせ】

（リリース全般に関すること）

経済観光文化局 産学連携課 担当：正田、高増  
TEL：092(711)4900 FAX：092(733)5748

（資金調達・研究開発内容に関すること）

NOVIGO Pharma 株式会社 代表：石濱  
TEL：092(802)6994 mail：info@novigopharma.co.jp

## シリーズ A ラウンド資金調達を実施



NOVIGO Pharma株式会社(福岡県福岡市、代表取締役:石濱 航平、以下:NOVIGO)は、ニッセイ・キャピタル11号投資事業有限責任組合(無限責任組合員:ニッセイ・キャピタル株式会社、東京都千代田区、代表取締役:安達 哲哉)、みらい創造二号投資事業有限責任組合(無限責任組合員:株式会社みらい創造機構、東京都渋谷区、代表取締役社長:岡田 祐之)への第三者割当増資により、合計約2億円の資金調達を実施しましたことをご報告致します。

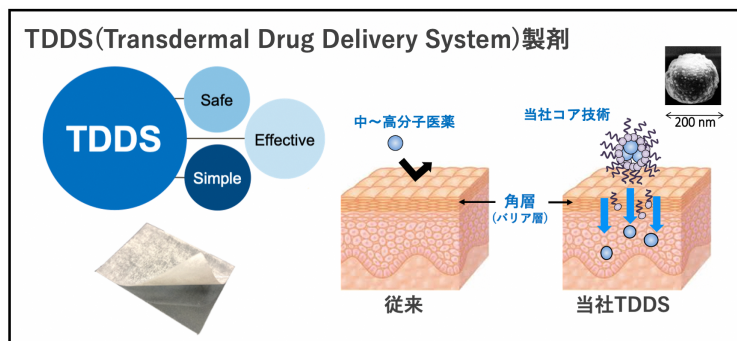
NOVIGOは、世界的なTDDS技術研究者である、後藤雅宏教授(九州大学主幹教授兼次世代経皮吸収研究センター長)の開発した次世代経皮吸収技術をもとに、QOLの低い投与経路製剤に代わる長期徐放製剤の創出を目的に、この1月に設立したベンチャー企業です。

### ■本事業による社会へのインパクト

注射投与に代わる長期間の持続が可能な次世代経皮製剤は、QOL の高い投与としてセルフメディケーションを推し進め、今後の高齢化社会や僻地医療への貢献が期待されます。また、一般的に新規製剤の開発には数年ないしは数十年の期間を要し、開発費用も莫大である為、途中の薬剤スクリーニングや臨床開発においてドロップアウトした際の経済損失は計り知れませんが、本製剤技術によって毒性や重篤な副作用が原因で開発中にドロップアウトした薬剤を救い上げるのみならず、ライフサイクルマネジメントの観点からも特許期間の満了による製剤の延命も期待されます。

### ■今回の資金調達の目的と今後の展開

今回の調達資金は、候補薬となる経皮製剤開発を担う研究開発人材の増員と臨床開発のための研究開発資金として使用致します。技術的に困難とされた注射製剤に匹敵する経皮製剤の開発と、次世代経皮吸収技術の創薬プラットフォーム展開に向けて成長して参ります。



※1) TDDS(Transdermal Drug Delivery System)とは薬物を必要な量、時間で作用させるように制御する経皮製剤技術。注射製剤とは対照的に、薬物を効率よく送達することで副作用を最小限に抑え、長期間にわたり作用させることが可能となります。